

明恵と龍になつた女

たにぐちよしすけ

谷口義介著

▼四六判・並製カバー・二九二頁・本体一、五〇〇円十税

2019年4月刊行



鎌倉時代の名僧・明恵は女神像・善妙神像を作らせた。
善妙神のルーツを求めて韓国、中国を訪ね、善妙化龍説話の背景を探る。

【目次】

第一章 明恵と比丘尼たち

―京都・高山寺―

梅尾詣で

阿難塔

善妙寺の守り神

高山寺細見

糸野の御前

春日明神の憑依

仮身としての春日明神像

二つの神像の比較

『華嚴宗祖師絵伝』

「義湘絵」の材料

女弟子から女神へ

善妙寺の尼僧たち

第二章 浮石大師義湘

―韓国・浮石寺―

韓国初訪

清州から栄州へ

念願の浮石寺に

善妙尼像

善妙井

華嚴十刹

海印寺・石窟庵・仏国寺

護国のための寺

李杜鉉博士の説

高麗時代に伝来

新羅における善妙

第三章 善妙の実像

―中国・赤山法華院―

文登へ

円仁の記録から

山東半島の新羅人社会

赤山法華院

「義湘伝」について

ロマンスの舞台

善妙の実像

善妙化龍

善妙説話の成立

山東半島の善妙廟

第四章 善妙における「性」と「聖」

―ふたたび善妙寺にて―

善妙遊女説をめぐって

「娘子」の両義性

小箱のモチーフ

「大蛇となりて男を追ふ」

道成寺説話

〈清僧〉対〈淫女〉の構図

「仏道の種子」

明達と禅恵

その後の善妙寺

江戸時代の記録

その後の善妙寺

基本文献

あとがき

◆著者略歴

一九四三年生れ。立命館大学大学院文学研究科(修士課程)修了。博士(文学)。研究分野は東アジア古代史・日中比較文化。(財)滋賀県文化財保護協会をへて、熊本短期大学教授・摂南大学教授を歴任。現在、中国芸文研究会顧問。
著書に『中国古代社会史研究』(朋友書店、一九八八年)、『歴史の霧の中から』(章書房、一九九〇年)、『逃げる男・追う女―東アジアの説話半月弧』(現代思潮新社、二〇一一年)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
谷口義介著 法藏館 本体一、五〇〇円十税 明恵と龍になつた女	
ISBN:978-4-8318-5649-4 C0015	
お名前	ご住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・説話